報道発表

令和５年12月21日
名古屋税関
中部空港税関支署

令和５年１１月分　中部空港　貿易概況（速報）の要旨

令和５年１１月分について、輸出は「電気計測機器」、「科学光学機器」などが増加したものの、「半導体等電子部品」、「重電機器」、「自動車の部分品」などが減少したことから対前年同月比10.3%の減少となった。また、輸入は「通信機」、「科学光学機器」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等製造装置」、「有機化合物」などが増加したことから、同 19.4%の増加となった。
その結果、差引額は４３億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,058億円	▲10.3%	1,101億円	＋19.4%	▲43億円	－
	11ヵ月連続の減少		6ヵ月連続の増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	（１）	電気計測機器	75億円	＋14.7%	輸入	増加品目	（１）	原動機	253億円	＋54.2%
		（２）	科学光学機器	46億円	＋15.6%			（２）	半導体等製造装置	56億円	＋381.3%
		（３）	原動機	50億円	＋11.3%			（３）	有機化合物	46億円	＋477.5%
	減少品目	（１）	半導体等電子部品	142億円	▲24.9%		減少品目	（１）	通信機	9億円	▲58.6%
		（２）	重電機器	11億円	▲77.3%			（２）	科学光学機器	26億円	▲25.3%
		（３）	自動車の部分品	36億円	▲29.1%			（３）	電気回路等の機器	16億円	▲32.5%
	主要地域増減		アメリカ、アジアが減少、EUは増加				主要地域増減		アジア、アメリカ、EUが増加		

（参考）ドルレートは、１５０．３４円（前年同月比２．７%、３．９１円の円安）であった。
（注）　月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。